

授 業 科 目 名	海外事情(外国語モジュール)				
担 当 教 員	細矢浩志				
学 期	前期	曜日・時限	月曜日・5-6時限	単 位	2単位
地域志向科目	該当 する ・ <u>しない</u>				
<p>【授業としての具体的到達目標】</p> <p>現代の国際社会の経済的構造とその展開にかかわる基礎的な知識を獲得するとともに、世界経済を読み解くのに必要な問題設定や経済学的な思考がひととおりできるようになることを目標とします。</p>					
<p>【授業の概要】</p> <p>アメリカ経済に関する最新刊の研究書を読むことをつうじて、20世紀以降今日に至るアメリカ経済の各分野における歴史的展開を検討し、現代アメリカ経済が抱える諸問題を多面・多角的に検討・考察します。</p>					
<p>【授業内容予定】</p> <p>第1回 ガイダンス</p> <p>第2回 「問題大国」アメリカ：繰り返される歴史—大恐慌と世界経済危機</p> <p>第3回 決められない政治—政策形成プロセスの変容と経済政策</p> <p>第4回 葛藤するエネルギー—多消費社会—環境エネルギー政策の成立と模索</p> <p>第5回 自由化と生産調整の狭間で—農業大国の展開</p> <p>第6回 貿易自由化への懐疑—関税障壁から非関税障壁へ</p> <p>第7回 変化する市場への対応—反トラスト政策の変遷</p> <p>第8回 中間総括</p> <p>第9回 金融の肥大化—金融市場の構造変化とファンド資本主義の展開</p> <p>第10回 「競争的経営者資本主義」の盛衰</p> <p>第11回 オフショア・アウトソーシングへ—IT多国籍企業の史的展開</p> <p>第12回 「労使関係」の成熟と衰退</p> <p>第13回 格差と貧困—アメリカ型福祉国家の形成と変容</p> <p>第14回 “希少性”と“余剰”—経済学は経済成長をどのようにとらえてきたか</p> <p>第15回 まとめ</p>					
<p>【教材・テキスト】</p> <p>谷口明丈・須藤功編『現代アメリカ経済史』有斐閣、2017年、4,104円</p>					
<p>【参考文献】</p> <p>適宜、紹介します。</p>					
<p>【成績評価の方法および採点基準】</p> <p>レポートの作成・報告や出席等の学習態度により総合的に判断します。</p>					
<p>【授業形式・形態および授業方法】</p> <p>演習形式（レポート作成・報告、ディスカッション）</p>					
<p>【留意点・予備知識等】</p> <p>現代アメリカ経済にかんする基礎的な素養と物事を議論する力を身につけていることが求められます。</p>					
<p>【オフィスアワー】</p> <p>月曜日・午後4時30分～5時30分・人文社会科学部344研究室</p>					